

## 2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

| シラバス番号  | 科目名                             | 担当者名   | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別  | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|---------------------------------|--|------------------|---|-----|--------|---------|
| 52431   | 児童文化<br>Literature for Children | 中西由香里  |                  | 専門  | 1   | 選択     | 2年前期    |
| <b>科目の概要</b>  |                                 |  |                  |   |     |        |         |
| 児童文化財をとおして子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識と技術を修得し、実践力を養うことを目的とする。絵本の種類、文章や絵、描写手法、構成など技法を理解するとともに、子どもの発達年齢に適した選書ができる力を身に付け理論と技術を修得することで実践力を養う。 |                                 |  |                  |   |     |        |         |
| <b>学修内容</b>   |                                 |  |                  | <b>到達目標</b>   |     |        |         |
| ① 児童文化財について概観する。<br>② さまざまな絵本の特性を理解する。<br>③ 絵本を探す方法を知る。<br>④ 幼小接続を踏まえた読み聞かせの指導方法を理解する。<br>⑤ パペット制作とお話プログラムを計画する。                    |                                 |  |                  | ① 子どもの発達段階を理解し児童文化財について説明することができる。<br>② 絵本の特性を理解し子どもに合った絵本を選択できる。<br>③ 大学図書館で絵本検索ができる。<br>④ 絵本の内容により読み聞かせ指導方法を提案できる。<br>⑤ 人形を完成することができ、お話プログラムに人形を取り入れ発表することができる。 |     |        |         |
| <b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>  |                                 | <b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>   |                  |   |     |        |         |
| 前に踏み出す力   | 主体性                             | 児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発信や演習など積極的に関わり、技術修得のために自ら練習をすることができる。              |                  |   |     |        |         |
|   | 働きかけ力                           |  |                  |   |     |        |         |
|   | 実行力                             | 失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。                            |                  |   |     |        |         |
| 考え抜く力   | 課題発見力                           | 多くの絵本を読み考察することで、思い込みや憶測で判断するのではなく、学んだ知識や情報を活かし、客観的に発達年齢にあった絵本を選ぶことができる。  |                  |   |     |        |         |
|   | 計画力                             | レポート課題は期限を守り提出できる。人形を期限までに完成させる。   |                  |   |     |        |         |
|   | 創造力                             | 作品を作りあげる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力など身に付けることができる。                      |                  |   |     |        |         |
| チームで働く力   | 発信力                             | 聞き手にわかり易い発表、声の大きさ、話す速さ、話す内容が整理されている。                                     |                  |   |     |        |         |
|   | 傾聴力                             | 相手の意見を共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。                                    |                  |   |     |        |         |
|   | 柔軟性                             |  |                  |   |     |        |         |
|   | 状況把握力                           |  |                  |   |     |        |         |
|   | 規律性                             | 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合はフォローレポート課題を行う。 |                  |   |     |        |         |
|   | ストレスコントロール力                     |  |                  |   |     |        |         |
| <b>テキスト及び参考文献</b>   |                                 |  |                  |   |     |        |         |
| テキスト：「認定絵本士養成講座」中央法規出版 1,800円<br>参考文献：授業の中で適宜紹介する。  |                                 |  |                  |   |     |        |         |
| <b>他科目との関連、資格との関連</b>   |                                 |  |                  |   |     |        |         |
| 他科目との関連：保育内容（言葉）、児童サービス論<br>資格との関連：保育士、認定絵本士、司書   |                                 |  |                  |   |     |        |         |
| <b>学修上の助言</b>   |                                 |  |                  | <b>受講生とのルール</b>   |     |        |         |
| ・心に残っている絵本を読み直しておくといよい。<br>・演習、随時課されるレポート課題に対応できるようにテキストやプリント等に目を通しておくといよい。   |                                 |  |                  | ・授業内で指示した絵本について、大学図書館や公共図書等で借り持参すること。   |     |        |         |

【評価方法】

| 評価対象                   | 評価方法          | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント  |   |   |
|------------------------|---------------|-------|------|--|---|---|
| 学修成果                   | 学期末試験         | 40    | ①    | ✓  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・お話プログラムで評価する (10点)</li> <li>・お話プログラムを発表する (30点)</li> </ul> 人形操作、読み聞かせの技術で評価する<br>お話プログラムには、必ず「パペット」が入っていること   |   |
|                        |               |       | ②    | ✓  |   |   |
|                        |               |       | ③    |  |   |   |
|                        |               |       | ④    | ✓  |   |   |
|                        |               |       | ⑤    | ✓  |   |   |
|                        | 平常評価          | 小テスト  | 0    | ①  |   |   |
|                        |               |       |      | ②  |   |   |
|                        |               |       |      | ③  |   |   |
|                        |               |       |      | ④  |   |   |
|                        |               |       |      | ⑤  |   |   |
|                        |               | レポート  | 30   | ①  | ✓   | <ul style="list-style-type: none"> <li>①リアクションペーパー「日本と世界の昔話絵本」 (10点)</li> <li>②リアクションペーパー「科学絵本」 (10点)</li> <li>③リアクションペーパー「プロジェクト読み聞かせ」 (10点)</li> </ul> ③は、プロジェクト読み聞かせに合った絵本を選択できていること<br>課題は、引用文献・参考文献を記述する |
|                        |               |       |      | ②  | ✓   |   |
|                        |               |       |      | ③  | ✓   |   |
|                        |               |       |      | ④  | ✓   |   |
|                        |               |       |      | ⑤  |   |   |
| 成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等) | 20            | ①     | ✓    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人形「パペット」 (20点)</li> </ul> 作品は3段階のA・B・Cで評価する<br>A：特に高い、B：完成度は高く表現にも工夫が見られる、C：完成はしているが表現方法に工夫と努力が必要な3段階で評価する |   |   |
|                        |               | ②     |      |  |   |   |
|                        |               | ③     |      |  |   |   |
|                        |               | ④     |      |  |   |   |
|                        |               | ⑤     | ✓    |  |   |   |
| 学修行動                   | 社会人基礎力 (学修態度) | 10    | ①    | ✓  | <主体性・実行力><br>・児童文化財の良さを伝えるために、授業の中で発言や演習など積極的に関わることができ、技術修得のために自ら練習をすることができる。<br>・失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。<br><課題発見力・計画力・創造力><br>・多くの児童文化財に触れ、学んだ知識や情報を活かし客観的に発達年齢にあった児童文化財を選ぶことができる。<br>・おはなしプログラムを期限内に計画できる。<br>・作品を作り上げる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力を身に付けることができる。<br><発信力・傾聴力・規律性><br>・聞き手にわかり易い発表(声の大きさ・話す速さ・話す内容が整理されている)ができる。<br>・相手の話す意見に共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べるができる。 |   |
|                        |               |       | ②    | ✓  |   |   |
|                        |               |       | ③    | ✓  |   |   |
|                        |               |       | ④    | ✓  |   |   |
|                        |               |       | ⑤    | ✓  |   |   |
| 総合評価割合                 |               | 100   |      |  |   |   |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準   | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達段階を理解し児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。①</li> <li>・絵本の特性を理解し子どもに合った絵本を選択できる。②</li> <li>・大学図書館や公共図書館で絵本を探すことができる。③</li> <li>・絵本の内容により、プロジェクト読み聞かせや基本の読み聞かせ方法など指導方法を工夫できる。④</li> <li>・人形を完成することができ、お話プログラムに人形を取り入れ発表することができる。⑤</li> </ul> S (秀) =①+②+③+④+⑤、A (優) =①+②+③+⑤ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。①</li> <li>・絵本の特性を説明できる。②</li> <li>・大学図書館で絵本検索ができる。③</li> <li>・プロジェクト読み聞かせや基本の読み聞かせ方法など指導方法を説明できる。④</li> <li>・人形を完成することができ、お話プログラムに人形を取り入れ発表することができる。⑤</li> </ul> B (良) =①+②+③+④+⑤、C (可) =①+②+③+⑤ |

| 週 | 学修内容   | 授業の実施方法  | 到達レベルC(可)の基準  | 予習・復習   | 時間(分) | 能力名                       |
|---|--|--|---|---|-------|---------------------------|
| 1 | オリエンテーション<br>「児童文化財」について学習する。児童文化の歴史や保育における児童文化の意義について学ぶ。  | 講義<br>質疑応答<br>発表                               | 授業内容・評価等について理解できる。<br>児童文化財の活用方法について理解できる。  | (復習)<br>児童文化財の意義についてまとめる。   | 180   | 傾聴力<br>規律性                |
| 2 | 【絵本の世界を広げる技術①(絵本を探す技術)】<br>絵本を探す目的を理解し、様々な絵本の情報源について学ぶ。<br>図書館のレファレンスサービスについて、事例を通して学び実践する。              | 講義<br>質疑応答<br>グループディスカッション                     | 絵本を探す多様な手段等について理解することができる。<br>絵本検索にかかる各手段の活用方法を身に付けることができる。                           | (復習)<br>公共図書館のHPから絵本を探し、レポートにまとめる。                                      | 180   | 主体性<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 3 | 【絵本各論④】<br>情報メディアとしての絵本の特性を理解する。絵本と著作権の関係について学ぶ。電子書籍・マルチメディアDAISYの特性を理解する。電子書籍と子どもの脳との関連について学ぶ。          | 講義<br>質疑応答<br>グループディスカッション                     | 情報メディアとしての絵本の特性を理解できる。絵本と著作権との関係について理解することができる。<br>電子書籍と子どもの脳活動について理解することができる。        | (予習)<br>絵本の著作権について調べておく。<br>(復習)<br>情報メディアとしての絵本についてまとめる。               | 180   | 主体性<br>課題発見力<br>規律性       |
| 4 | 【子どもの心をとらえるもの】<br>子ども達の興味関心のある児童文化とその特徴を知る。<br>写真絵本やデジタル絵本等、現在の子どもの心をとらえる様々なメディアについて知り、子ども達への影響についても考える。 | 講義<br>質疑応答<br>グループディスカッション<br>全体ディスカッション       | 子どもの興味関心のある児童文化とその特徴を知る。<br>写真絵本やデジタル絵本等、現在の子どもの心をとらえる様々なメディアについて知り、子ども達への影響についても考える。 | (予習)<br>本以外の絵本表現について調べる。<br>(復習)<br>様々な絵本表現について、適切な活用方法を考えまとめる。         | 180   | 主体性<br>課題発見力              |
| 5 | 【さまざまなジャンルの絵本①(物語の絵本)】<br>物語絵本について理解し、読書指導法「Literatur Circles」の演習をとおして絵本の多様な読み方を理解する。                    | 講義<br>演習<br>質疑応答<br>グループディスカッション<br>全体ディスカッション | 物語を内容とした絵本の特性について理解することができる。<br>絵本における絵と言葉で語る技法を体得することができる。                           | (予習)<br>物語の絵本を選び、特性について考える。<br>(復習)<br>物語絵本についてまとめる。                    | 180   | 主体性<br>実行力<br>創造力         |
| 6 | 【さまざまなジャンルの絵本②(昔話・童話を基にした絵本)】<br>昔話、童話を題材とした絵本の特性について学ぶ。<br>昔話及び童話を題材にした絵本における再話や絵本の在り方について考察する。         | 講義<br>演習<br>質疑応答<br>グループディスカッション<br>全体ディスカッション | 昔話及び童話を題材にした絵本の特性について理解することができる。<br>昔話及び童話を題材にした絵本における再話や絵本の質の在り方について理解することができる。      | (予習)<br>昔話や童話を題材とした絵本を選んでおく。<br>(復習)<br>同じ題材の2冊の絵本を探し比較検討後、レポートとしてまとめる。 | 180   | 主体性<br>課題発見力              |
| 7 | 【さまざまなジャンルの絵本③(科学絵本等)】<br>科学絵本の定義や意義について学ぶ。<br>科学絵本の活用方法について学ぶ。  | 講義<br>演習<br>質疑応答<br>グループディスカッション<br>全体ディスカッション | 科学絵本の特徴を理解することができる。<br>科学絵本等の活用方法について理解することができる。                                      | (予習)<br>科学絵本を選び、特徴についてまとめる。<br>(復習)<br>保育に活用できる科学絵本を選び、活用方法を考えまとめる。     | 180   | 主体性<br>課題発見力              |
| 8 | 【絵本を紹介する技術②】<br>絵本を客観的に捉える意義について理解する。<br>絵本を評価するための基本的な姿勢について学び、書評を書いてみる。                                | 講義<br>演習<br>質疑応答<br>グループディスカッション<br>全体ディスカッション | 絵本の内容及び特質を客観的に捉えることができる。<br>書評及び紹介文の書き方を身に付けることができる。                                  | (予習)<br>好きな絵本を紹介する文を書く。<br>(復習)<br>絵本を1冊選び、書評及び紹介文を書く。                  | 180   | 実行力<br>計画力                |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週  | 学修内容   | 授業の実施方法                    | 到達レベルC(可)の基準  | 予習・復習   | 時間(分) | 能力名                        |
|----|--|----------------------------|---|---|-------|----------------------------|
| 9  | シアタースタイルの文化財<br>パペットを活用したお話プログラムについて学ぶ。<br>お話プログラムを考える。<br>パペット制作①                             | 演習・制作・発表練習                 | 絵本お話プログラムを書く手順を説明することができる。  | (予習)<br>パペットの種類について調べておく。<br>(復習)<br>お話プログラムを書くための絵本を選ぶ。  | 180   | 実行力<br>計画力<br>創造力          |
| 10 | シアタースタイルの文化財<br>パペット制作②  | 制作・発表練習                    | パペットの作り方を説明することができる。<br>パペットを自分なりに工夫して制作することができる。                         | (予習)<br>絵本をどのようにお話プログラムに活かしていくか考えておく。<br>(復習)<br>人形を完成させ、発表練習をする。                               | 180   | 実行力<br>計画力<br>創造力<br>発信力   |
| 11 | シアタースタイルの文化財<br>お話プログラム発表  | 発表<br>学生相互評価               | お話プログラムを発表することができる。<br>発表者の表現について、評価することができる。                             | (予習)<br>発表ができるように、準備練習しておく。<br>(復習)<br>発表の振り返りをし、他者からの評価内容を反映させ、お話プログラムを改善する。                   | 180   | 実行力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力   |
| 12 | 【絵本を紹介する技術①】<br>ブックトークの目的及び方法について学ぶ。<br>ブックトークの基礎的技術を身に付け、グループごとにブックトークを実践する。                  | 講義<br>質疑応答<br>グループディスカッション | 場面や目的に応じた適切なブックトーク及びビブリオトークについて理解することができる。                                | (予習)<br>ブックトークをする絵本を選んでおく。<br>(復習)<br>他者の意見を反映させ、ブックトークを完成させる。                                  | 180   | 実行力<br>創造力<br>発信力          |
| 13 | プロジェクト読み聞かせ<br>幼小接続を踏まえたピラミッド教育法を理解し、主体性、自主性を育成していくピラミッドメソッドを導入した読み聞かせの方法について学ぶ。               | 講義<br>質疑応答<br>グループディスカッション | 絵本の種類や内容により、読み聞かせの方法を工夫することが理解できる。子どもの自主性を大切にしていくな読み聞かせの方法について理解することができる。 | (予習)<br>ピラミッド教育法について、調べ疑問点等を明らかにしておく。<br>(復習)<br>ピラミッドメソッドを導入した読み聞かせの方法をまとめる。                   | 180   | 課題発見力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力 |
| 14 | 【絵本と出会う③図書館等での出会い】<br>公共図書館の行う児童サービスについて学ぶ。<br>事例を通して、地域の読書推進活動での絵本をめぐる活動の意義や関連事業の可能性について考察する。 | 講義<br>質疑応答<br>ゲストスピーカー     | 公共図書館の児童サービスについて理解することができる。<br>地域の読書推進活動における絵本をめぐる活動の展開について理解することができる。    | (予習)<br>公共図書館の児童向けサービスについて調べておく。<br>(復習)<br>自分の住んでいる地域の読書推進活動の取り組みをまとめる。                        | 180   | 傾聴力<br>規律性                 |
| 15 | 【絵本と出会う④書店での出会い】<br>書店における絵本の売り場づくりの工夫について学ぶ。絵本が完成し、流通するまでの流れについて学ぶ。                           | 講義<br>質疑応答<br>ゲストスピーカー     | 書店における絵本の売り場づくりの工夫及び絵本の流通について理解することができる。                                  | (予習)<br>地域の書店の絵本コーナーについて、工夫点等を調べておく。<br>(復習)<br>講義内容の感想及び、絵本が手元にあることの意義をこれまでの授業を振り返り、レポートにまとめる。 | 180   | 傾聴力<br>規律性                 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力